



# みんなのニーズをくみ取り社会貢献 農業研究者の役割は？



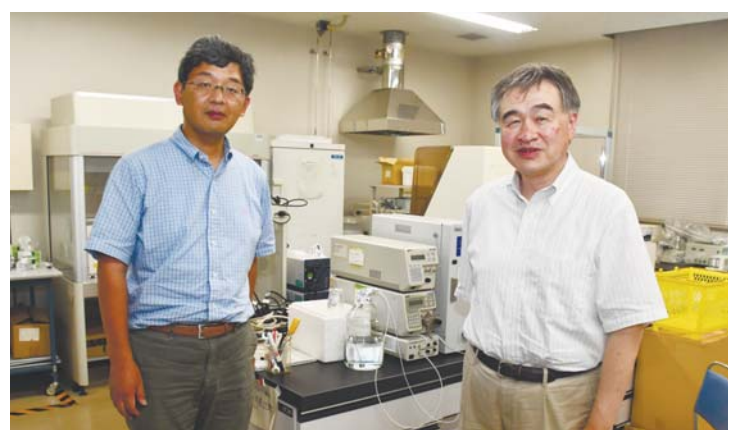
切り花検定室でダリアの日持ちを調査している様子＝農研機構提供

みなさんは「流通」という言葉を聞いたことがありませんか？ 流通とは生産された商品が、消費者に届くまでの流れのことです。

国内の花きの生産者は5万8千戸(2015年)あり、気象条件を生かして北海道から沖縄まで広がっています。大切に育てられたあと、出荷されます。花をあつかう小売業者は全国におよそ2万7千店(2014年)。花の流通には多くの人がたずさわっています。

農研機構の花き生産流通研究領域長の中山真義さんは「研究者の役割は、生産者や市場関係者、小売業者、消費者など、それぞれの立場にいる人たちのニーズをくみ取って、社会の役に立つ研究をすることです。科学だけでなく、文化や経済、社会のなり立ちなどさまざまな知識が求められます」と話します。

花の産業を盛りあげようと、2014年には「花き振興法」という法律がつけられました。2015年度に始まった農林水産省の研究プロジェクト「国産花きの国際競争力強化のための技術開発」はその法律の趣旨にそって、花き産業をささえる技術の開発を目的に企画されました。



小野崎隆さんと中山真義さん(右)

**Q & A**

**小野崎隆さんの答え**

**Q** 研究者になりたいと思っ  
たきっかけを教えてください。

**A** 昔から草花の栽培が大好き  
でした。中学生のころは種苗メ  
ーカーから園芸雑誌を取り寄せて  
は熱心に読み、最新の種子を  
買っては育てていました。花の研  
究がしたいと思って、進学した京  
都大学農学部ではカーネーション  
やダイアンサス(ナデシコ)の染色  
体や花粉について研究しました。

**Q** 農業をテーマにした研究の  
大切さとはなんでしょうか。

**A** 食料やそれを生み出す農業  
は人間の生活にとって不可欠で  
す。その研究には大きな意義が  
あると思っています。

**中山真義さんの答え**

**Q** 研究者としての苦労ややり  
がいがありますか。

**A** 研究は、わからないこと、知  
られていないことを知ろうとする  
行いなので、予想通りにならない  
ことが多く苦労します。その予  
想通りにならなかった現象には、  
だれも予想できなかったことが  
反映されています。そういう現  
象を通して新しい事実や考え方  
を見つめることに楽しみを感じ  
ます。

**Q** 研究者にあこがれる子ども  
たちに伝えたいことは？

**A** 予想とは異なる結果が得ら  
れたときこそ、新しい発見のチャ  
ンスだと思ってください。

## みんなの声に耳を傾ける研究者

